



## TOPICS 1 予算要望書を提出

私たち自由民主党議員団は、常に区民の皆さまの目線にたって、毎年区長に対して予算要望を行い、様々な事業を実施してまいりました。

今年も各関係機関等からの要望をふまえ、特に区民の皆さまの生活に密接な事項を中心に



9事業55項目にわたり、区民生活の安全と安心を支える区政の実施に向けて要望いたしました。区政を取り巻く課題の解決に向けて区民の皆さまのご期待に応えるよう全力で取り組んでまいります。

◀予算要望書

政務調査会長 松本佳子

●想定を大きく上回る災害等危機管理に関する対策

●次世代育成に関わる取り組み

●かがやきプラザ(高齢者総合サポートセンター)の開設にともなう高齢社会における保健福祉の充実

●オリンピック・パラリンピックを契機とした様々な視点からの施策への取り組み



連合町会長協議会からの要望を受け取りました

## TOPICS 2 保養施設の今後について

群馬県嬭恋村とは昭和63年10月に姉妹提携を結び、子供たちの農業体験を始め様々な交流事業を行ってきました。また、一方ではこの地に嬭恋自然休養村を設置し、大自然の中で都心では味わえない体験を通して多くの皆さまに親しまれてきました。

しかし、遠方であるが故に利用者は年々減り、施設の老朽化から今後多額な経費を要することとなり、区としては区民が今後も引き続き(10年間)利用できることを条件として一部修繕をした上で同施設を嬭恋村に無償譲渡することにしました。

もちろん姉妹提携は継続した上で委員会としては区の報告を受け入れると共に区民の皆さまが今まで以上に親しみやすい環境を整え利用していただけるよう様々な提案をしております。

地域保健福祉委員会 委員長 桜井ただし



嬭恋自然休養村

軽井沢少年自然の家については、区立学校の平成28年度の宿泊行事が行われないことから廃止を検討していた区に対して「施設廃止前提の議論ではなく、区民や利用団体等の意見を聴きながら幅広い視点でその活用方法を検討すべきである」と求めてきました。

このたび、改めてこれから1年間にわたり、今後の活用のあり方について議論を行うことになりました。それに伴い、二期施設であるメリーズ軽井沢は、平成28年度についてはこれまでと同様に利用できることとなりました。

この間、委員会としては施設の現状等を十分に調査しながら、今後の施設の利用方法について引き続き議論してまいります。

子育て文教委員会 委員長 松本佳子



メリーズ軽井沢



かがやきプラザ(高齢者総合サポートセンター)



幹事長

嶋崎 秀彦

## 新年明けましておめでとうございます。

昨年、4月の統一地方選挙におきましては絶大なるご支援を賜りお陰様で前期同様の勢力を守ることができました。これも偏に皆さま方のお力の賜物だと心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

また、本年夏には参議院選挙が控えております。「一億総活躍社会」の実現など、未来を見据えた政策を国民の理解を得ながらスピード感をもって推進していきますので、引き続き政権を支えるわが党のご支援をお願いいたします。

さて、我が千代田区も目標としてきた人口が5万人を回復し、近い将来6万人を超える人口が予想されております。しかし、マンションなどの集合住宅が人口の8割~9割とも言われ、地域コミュニティの維持が大きな課題となっております。区議会としてもこの問題解決に向け今まで以上に取り組んでまいります。

今後も「区政は区民のもの」という区民目線に立ち、引き続き自由民主党議員団一致団結し、区民福祉の向上に努めてまいりますので、本年も変わらぬ御指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。

## 代表質問

### 内田直之



#### 千代田区が果たすべき役割と総合戦略

**Q** 都市間競争の時代を迎え、首都東京が果たすべき役割、その中核を担う千代田区の役割は、他の自治体とは大きく異なる。「選択と集中」による都市政策の方向性、並びに、千代田区独自の「創生総合戦略」について、見解を問う。

**A** 首都東京、そして千代田区が果たすべき役割はご指摘通りである。国は「東京一極集中の是正」を掲げているが、千代田区独自の「総合戦略」では、「地方との連携」を基本目標とし、地方との共生をめざす。

#### 社会的包容力を持ったまちづくり

**Q** 豊かな地域社会や共生社会を実現するなかで、人々が何らかの理由により排除されることがない社会的な努力である「社会的包容力」を持ったまちづくりが、千代田区にも必要である。

**A** ユニバーサル社会の実現を目指す千代田区にとって、「社会的包容力」を持ったまちづくりは極めて重要な視点であり、「共生」の理念と相通じるものである。鋭意取り組んでいく。

#### 外濠公園総合グラウンドの人工芝化

**Q** 区内唯一の屋外施設である、外濠公園総合グラウンドを人工芝化することで、利用日数を最大約170%まで拡大することが可能。あわせて区民ニーズにあった多目的運動施設への整備を提案する。

**A** 都心における限られた屋外スポーツ施設であることから、区民の利便性の向上を図るべく、多目的利用や人工芝化の実現に向けて、関係団体との協議を積極的に進めていく。

その他予算編成の基本方針、高齢者サポートセンターの運用及び医療と介護の連携、新公会計制度導入の意義と課題等について質問を行いました。

## 一般質問

### 池田とも のり



#### 「地方創生」への取り組み

**Q** 都心千代田区があらゆる面で地方に支えられていることを認識したうえで、地方と共存・共栄・連携をめざす事業について、区独自の施策は？

**A** NPO等の民間団体との協働や自治体間の連携により、防災、環境、商工観光等の他分野で事業展開している。今後、更に充実させるとともに、より効果的な手法を検討、連携事業を区から積極的に発信し、地方との共存・共栄をめざして取り組んでいく。

#### 地域づくりについて

**Q** 人口減少にある地方への取り組みとは異なる千代田区も「地方」のひとつ。人口増加の傾向にある本区で、出産、子育てを含め若い世代が住み続けられる取り組みは？

**A** 待機児童ゼロ対策や放課後対策等の保育環境の整備、子どもの遊び場等の確保や子どもの安全確保等の地域づくり、さらに仕事と子育ての両立支援等に取り組んでいく。

#### 無料Wi-Fiの整備

**Q** 千代田区での「外国人旅行者の利便性向上」や「地域・観光情報の発信」「災害時の情報共有」を目的とした、無料Wi-Fiの整備を早急に行うべき。

**A** ご指摘通り、早期に無料Wi-Fiの整備に取り組む必要がある。平成28年度の本格的な整備に向けて、年内に本庁舎とかがやきプラザ及び遊歩道、年度内に千鳥ヶ淵ポート場や出張所に設置し、課題を検証していく。

### 山田丈夫



#### 道路の整備について

**Q** ①歩道の拡幅・カラー舗装化・歩道のバリアフリー化等の整備の進め方や優先順位の考え方は。②電線類の地中化は、景観づくりのほか、災害対策上も早期に進めるべきだが、整備方針は。

**A** ①バリアフリーは歩道が未設置、2.5m未満の歩道の拡幅を優先。次に通学路、交通が多い道路、老朽化した路線から整備。②多くの人が使う施設や場所を結ぶ道路や通学路、バリアフリー未整備の道路から実施。再開発、JR駅改良等にも整備。

#### ちよくるポートの設置について

**Q** ちよくるのサイクルポートは区内に偏って設置されている。適正配置を。設置場所として未利用地の活用を。

**A** 警察と協議し、道路上の設置が認められたので、道路上も含め公園や児童遊園の一部を活用し、適正配置する。

その他、千代田区のワンルームマンションが地域社会に及ぼす影響について質問しました。

### 永田壮一



#### 皇居周辺環境整備について

**Q** 東京五輪開催に向けた本区の方針を明確にするべき。特に代官町通りをシンボルロードとして九段坂・千鳥ヶ淵と合わせ回遊性ある整備をしたらどうか。開発事業者には景観・環境への配慮を強く求めるべき。

**A** 皇居周辺は我が国を象徴する場であり区民の誇りである。代官町通り周辺は連続した公共空間として整備、回遊性向上を図る。民間事業者とは公民連携でまちづくりを進めていく。

#### 国際教育について

**Q** 英語教育・英語圏との交流だけで国際教育といえるのか。母国語を大切にし自国の文化を発信することが必要だ。神道にあるすべての物、森羅万象に神が宿り、各人信じる神があつていいという寛容的な考えを教えるべき。

**A** 異文化理解のため各学校で区内外33の大使館と交流している。海外との交流で「積極的になった」「自分に自信がついた」「自国の良さを再認識した」といった成果がある。多様な文化を理解し、自国の文化に誇りを持たせる国際教育に努める。

民間施設の手門タワーに濠水浄化設備が設置され、公民連携でお濠の水質問題が解決に向かってます。五輪開催に向け皇居周辺環境整備に取り組んでまいります。

